

編集後記

『太宰府市公文書館紀要一年報太宰府学一』第16号をお届けします。様々な時代、分野における太宰府学研究の現状を窺うことのできる一冊としてご味読いただければ幸いです。今号においては、まず市文書情報課高原寿子氏・百田繁俊氏による、本庁保存文書用書庫における収蔵スペース確保のための具体的な取り組みについての報告を掲載しました。こうした地道な作業によって、文書管理の重要な一面が支えられているということを示した報告です。

山村信榮氏の研究ノートは本誌第15号所載分の続編です。宝満山の江戸時代における修法の場の姿が、実地での測量調査によって、少しずつ明らかになってきています。また木村純也氏の論文も、宝満山に鎮座する宝満宮について、戦国期の起請文に注目し、その基礎的分析を行ったものです。国史跡に指定されたこともあってか、近年、宝満山に関する研究がさらに深化しているように思われます。

小林啓氏の研究ノートは、宮ノ本遺跡木炭櫛木棺墓の木棺について、解剖学的形質に注目してその復元を試みています。当該遺跡が太宰府市内に所在することから、投稿していただいたものです。こうした成果を掲載できますことは、本誌にとってまことに喜ばしい限りです。小林氏には御礼を申し上げます。

井形栄子氏の論文は、現在、文化財課を中心に進められている絵師調査成果の一環として、絵師吉嗣梅仙の生涯とその作品について概観したものです。調査成果のみならず、梅仙が制作した絵馬などに目配りしつつ、その創作活動のあり方にも言及されています。

目録では、第15号に引き続き、「旧社会教育課永年文書目録3」を掲載いたしました。

巷間ではまだまだコロナ禍が続いており、公文書館の事業展開にも影響が大きいものがあります。みなさまにおかれましては、ご自愛専一にお過ごしいただきますとともに、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(S記)

太宰府市公文書館紀要一年報太宰府学一 第16号

発行日 令和4年3月31日
編集 太宰府市公文書館
〒818-0110
太宰府市御笠5丁目3番1号
TEL / FAX : 092-921-2322
E-mail: kobunshokan@city.dazaifu.lg.jp
発行 太宰府市
印刷 株式会社博多印刷
〒812-0028
福岡市博多区須崎町8番5号
TEL : 092-281-0041

